

みち、ひと…未来へ。



ぶらり東讃道

2013年度
春号(創刊号)

高松自動車道4車線化情報紙

4車線化の目的

交通渋滞の解消

交通事故の減少

通行止め日数の削減

災害に強い道路



広大なスペースに、たくさんの小動物が放し飼いにされている“ふれあい”動物園。可愛い動物はもちろん、トラやライオンの赤ちゃんともふれあえます。動物たちのショータイムでは、迫力満点のパフォーマンスを見ることが出来ます。

東讃の風景

しろとり動物園
(東かがわ市)

香川県東かがわ市松原2111番地
《アクセス》◆お車でお越しの場合/高松自動車道「引田IC」から約10分
◆高速バスでお越しの場合/高松自動車道「高速引田バス停」からタクシーで約10分
◆JRでお越しの場合/高松線「讃岐白鳥駅」からタクシーで約10分
《HP》<http://www.pikarane.jp/shirotori-zoo/>

始まります! 高松自動車道4車線化



ぶらり東讃道

高松自動車道4車線化情報紙

発行目的

高松自動車道4車線化工事の進捗状況や工事のための一般道路等の通行規制などを広くお知らせしていくことを目的としています。

設置場所

NEXCO西日本四国支社管内のサービスエリア・パーキングエリア、大阪・神戸・高松の主要高速バスターミナル、四国の道の駅

配布エリア

東かがわ市、さぬき市、三木町にお住まいの約4万2000世帯

発行時期期間

四半期に1回、季節毎に発行

メッセージ

高松自動車道 4車線化事業への期待

高松自動車道は、四国の経済の大動脈であるとともに、東南海南海大地震など大規模災害発生時には緊急輸送路や救急搬送路となるなど、香川県はもとより四国にとって必要不可欠な社会基盤です。

県内生産物の輸送ルートとしても活用されるなど、本県の社会経済活動を支える基幹道路として、極めて重要な役割を果たしています。

とであり、これまでご尽力いただいた関係者の方々に深く感謝いたします。

高松自動車道の4車線化により、対面通行による正面衝突事故の防止や渋滞の解消が図られるとともに、災害時の緊急輸送路等としての機能が確保され、県民生活や本県の経済活動に大きく寄与するものと期待しています。

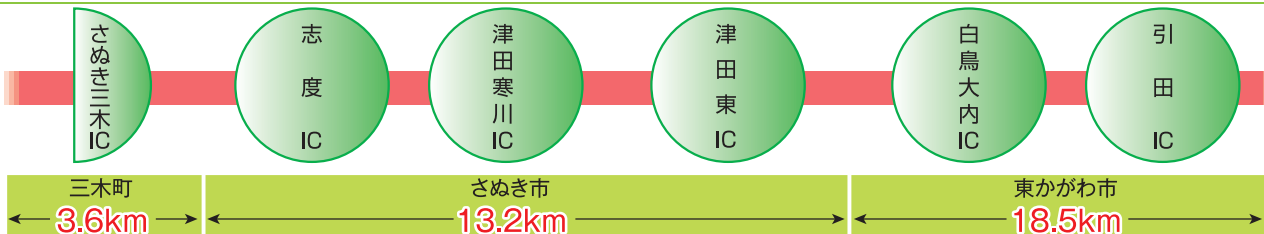
2003年3月に全線開通して以来、交通量は年々増加し、11年度の志度ICから津田寒川IC間の平均日交通量は約1万8千台と、全線開通当初に比べ約2倍に増加しています。

このような中、昨年4月、高速道路の利用者負担により当区間の4車線化事業の再開が決定されたことは、大変喜ばしいことです。



香川県知事
浜田 恵造

今後は、地元の皆様のご理解とご協力のもと、速やかに整備していただき、一日も早く完成することを願っています。



高松自動車道 4車線化へ

4車線化の概要

高松自動車道は、2003年3月の高松中央IC(インターチェンジ)〜高松西IC間の開通により、全通しました。これにより、連結する神戸淡路鳴門自動車、瀬戸中央自動車道および本州側の山陽自動車道とともに瀬戸内海東側の循環型の高速交通ネットワークを形成。関西圏および中国圏との交流を促進し、四国の活性化に寄与しています。

今回の事業では、高松道の対面通行している区間を4車線(上下線とも2車線で運用)に拡幅します。関西圏からの玄関口であるこの区間を拡幅することにより、四国の更なる活性化の一役を担います。延長する区間は、高松道・鳴門IC〜高松市境間の約52kmで、高松工事事務所ではこのうち香川県

域の区間、三木町(東かがわ市の約35kmを担当しています)。

現在の進捗状況は、関係機関と協議しながら工事・調査・設計を進めており、今後は四国、香川、東讃地区の皆さまのご期待にお応えできるよう、1日も早い高松自動車道4車線化の実現を目指して頑張ります。

4車線化の目的

この事業の目的は大きく分けると、「交通渋滞の解消」「交通事故の減少」「通行止め日数の削減」「災害に強い道路」の4つとなります。

①交通渋滞の解消

止め日数の削減「災害に強い道路」の4つとなります。

車線が確保されることにより、ゴールデンウィーク、年末年始などの繁忙期に発生している渋滞が解消され、観光地などへのスムーズな移動、帰省時の定時性が確保されます。また、渋滞解消により排気ガスが減り、環境改善にも貢献します。

②交通事故の減少

渋滞解消により後尾での交通事故等が減少。また、対面通行から上下線分離構造となることで快適性や安全性が向上するとともに円滑な走行が可能になります。

③通行止め日数の削減

これまで、補修作業、改良工事の際に夜間通行止め工事が必要となっていました。これらの作業を車線規制で実施することが可能となります。また事故による突発的な通行止めも車線規制で対応することが可能となり、お客さまへの負担も低減し、より快適な走行環境を常時提供することが可能となります。

④災害に強い道路

4車線化により、災害対応時でも最低1車線の車線確保が期待され、被災地への迅速な物資輸送・緊急車両の通行などが可能となります。また、積極的な救援活動を実施できるようになり、今後起こりうる南海地震に対する防災対策の1つとしても期待されています。



インタビュー

この人に聞いてみる?

高松道4車線化への期待や影響について、香川県高松土木事務所主任・多田政樹さんに聞きました。



香川県高松土木事務所主任(前香川県土木部道路課主任) 多田 政樹さん

4車線化への期待は?

楽しむ観光客で賑わって待っています。そのような魅力ある香川県を訪れる観光客にとって難所となつてのが高松道の片側1車線(対面通行)区間。せっかく来ていただける観光客に、道中安全に目的地まで到着していただきたという思いがありました。4車線化がもたらす安全性・高速性の向上、定時性の確保は、香川を訪れる多くの方々に安心感を与え、そして香川の新しい魅力に気付くことになるものと考えています」

香川県の現在の道路事情は?

「日本で一番小さい香川県は、道路整備率が比較的高い状況ですが、道路密度は大阪、東京、愛知に次ぐ全国4位で、人口当たりの交通事故発生件数や交通事故死者数が全国ワースト上位という危機的な状況にあります。このような不名誉な記録から脱することを県の最重要政策の一つと位置付け、様々な対策事業を計画しています。そのような状況の中、高松道の4車線化が一日も早く完成し、安全性が確保されることを望んでいます」

うどん県、アート県に与える影響は?

「2003年の高松道全線開通で、京阪神地域との交流が活発になりました。讃岐うどんブームで、週末のうどん店には県外ナンバーと長蛇の列が見られ、最近では、「うどん県」それだけじゃない香川県」プロジェクトにより、瀬戸内海をはじめとする観光資源、県産食材、伝統工芸、アートなどを



(聞き手) NEXCO西日本 西山 隆平